

Ⅱ. 経営方針

1.経営理念

◆ スローガン

つなぐ、はぐくむ、あなたの未来へ。 JA北九

【意図】

『つなぐ』は、

人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、食と農を結び、将来にわたって地域の社会に貢献していくとともに、新生JAとしての新たな覚悟を表しました。

- ・組合員と組合員、組合員や組合員組織とJA北九、JA北九と地域をつなぐ
- ・三位一体の力を発揮するため、3JAの地区や資源をつなぐ
- ・協同の精神や行動を未来へつなぐ

『はぐくむ』は、

人づくり、モノづくり、地域づくり、つまり、農業の担い手や高い能力を持つ職員の育成、地域農業の振興、地域密着活動などにより、組合員のくらしの向上、食料や自然環境への貢献、JAの信頼や経営基盤の拡大をしていく姿勢を示しました。

『あなた』は、

絆を深め育ていく第一義の対象である、組合員、地域住民、役職員を指しています。また、その集合体である、組合員組織、地域社会、JA組織、さらに、広く農村・自然環境、国家、農業を指します。

『未来』は、

農業協同組合には、組合員の財産や広く国民の農業、食料、自然環境、さらには生命（いのち）を守りはぐくむ使命があります。

この未来という言葉は、長い時間を見据え継続していく「運動体」としての姿勢を指します。

◆ 行動指針（ミッション4か条）

JA北九は、

1. 組合員の営農とくらしの向上に貢献します。
2. 地域農業の振興に努め、食料、環境に対する使命を果たします。
3. 人と人との絆を深め、事業を通じて地域に貢献します。
4. 事業運営の信頼性を高め、健全経営に努めます。

【意図】

1. は、「組合員」のための営農指導事業や生活・その他各種の事業により、農業協同組合の運動体として使命を全うし、組合員のしあわせのために貢献していくことを謳っています。
2. は、本来的な使命である地域の農業振興と、併せて、食料、自然環境に対する使命を果たすことを謳っています。
3. は、人を大切にし、人と人とのつながり、人・組織・地域とのつながりを深めて、地域の社会に貢献していく、新生JAとしての新たな覚悟を謳っています。
4. は、リスク管理、コンプライアンス遵守、利用者保護等、社会的責任（CSR）の発揮に努め、経営基盤の充実のため健全な経営を続けていく姿勢を謳っています。

2.経営方針

◆基本方針

『さらなる自己改革を実践』

～不断の改革を推進し、食と農・地域を未来につなごう～

JA北九は、農業・地域社会・JAを取りまく情勢と課題や農協改革集中推進期間の期限、准組合員の事業利用規制の在り方と検討といった、今後3年間にわたって2度、政府の農協改革が期限を迎えることを踏まえ、さらなる自己改革【不断の改革】を推進し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組みます。

【不断の改革】とは現在取り組んでいる自己改革を単に継続するのではなく、これまでの成果と課題や農業生産構造の急速な変化・地域社会・JA経営をめぐる環境変化等を踏まえ、3つの基本目標に向かってさらなる取り組みを進めます。

そのためには、まず、TACを中心とした出向く体制・ニーズに応える個別対応の強化、収入面における農畜産物の付加価値向上・生産量の拡大、支出面における生産コストの低減等、営農・経済事業の強化に向けた取り組みを着実に実践し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向け目標を明確化し、計画的に取り組めます。

次に、組合員の声に基づいたJA運営を進めるべく、現状の実態やニーズを対話活動や組合員組織活動を通じて十分に把握し、組合員の意思反映や運営参画を進め積極的な事業利用とJA活動に参加するアクティブ・メンバーシップを確立し、「地域の活性化」に取り組めます。

さらに、経営の柱となる信用事業における収益性の低下が避けられない中、これからも総合農協として経営を継続するために各事業において収益の向上・維持・改善に取り組み、安定した経営基盤を確立し、「地域農業をささえ、安心してくらせる地域社会に貢献する協同組合」を目指します。

◆重点事項

◇営農部門

JAの使命である「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」に向けて、営農部門一体となって組合員の営農活動を支援し、地域農業を支えていきます。

営農事業では、多様化する担い手の経営課題に的確に対応するため、TAC（担い手に出向く担当者）による訪問活動を一層の強化を行い、組合員との話し合いの徹底を図ります。

販売事業では、平成30年産からの米政策に引続き対応し、需要に応じた米生産と水田フル活用等農業諸政策活用による農家所得の確保・増大を目指します。また、消費者・実需者ニーズを踏まえた生産・販売戦略の構築と実践により、農業生産の拡大を図ります。直売所では、魅力ある店舗づくりに取り組み、地域住民・消費者へのJA北九農産物の情報発信、地域の食育拠点としての役割を発揮し、直売所・移動購買事業等による地域の活性化へ貢献します。

◇経済部門

生産資材価格の抑制による農家組合員への営農支援および地域の皆様へ安全・安心な生活資材の供給支援に取り組めます。

また、内部統制の定着・強化による事務堅確性のさらなる向上を図り、信頼され安心して利用される購買店舗づくりに努めます。

◇地域組織部門

組合員や地域とJAとの絆づくりを目的に、女性部活動、青年部活動、支店ふれあい委員会など組織活動の強化を図り、さらなる地域の活性化に取り組めます。

資産管理事業では、組合員の資産有効活用における学習会やセミナーを積極的に開催するとともに、組合員及び地主・家主に、より効率的な資産運用の提案ができる体制を整備します。